



平成 26 年 9 月 26 日

各 位

米州開発銀行
株式会社大和証券グループ本社

『EYE ボンド』グローバル・ドル債発行のお知らせ ～「教育・若年層支援・雇用支援」プロジェクト向け新 CSR 債～

このたび、大和証券グループは、米州開発銀行（IDB）が「教育・若年層支援・雇用支援」プロジェクト向け融資に必要な資金を調達するためのグローバル・ドル債『EYE ボンド』の共同主幹事を務め、昨日払込が完了したことをお知らせいたします。

『EYE ボンド』の発行は今回が初めてとなり、日本を含む世界の機関投資家が購入いたしました。大和証券グループでは、投資を通じて社会的課題の解決を目指すインパクト・インベストメントを積極的に手がけており、日本国内における個人投資家への販売シェアは過去累計で 56%（※大和証券グループ調べ）を記録しております。

EYE ボンドの概要

「EYE（教育・若年層支援・雇用支援）ボンド」とは、その調達資金が、米州開発銀行の EYE（教育・若年層支援・雇用支援）ボンド・プログラムの各プロジェクトに充当されることを目的として発行される債券です。

今回の発行は米州開発銀行による初めての EYE ボンド発行であり、中南米およびカリブ海地域における持続可能な成長・貧困撲滅・社会的平等という IDB の主要プロジェクトのなかでも“EYE”（Education 教育、Youth 若年、Employment 雇用）プロジェクトの資金として調達されたものになります。

米州開発銀行の取組み

米州開発銀行は人的資本の形成に関し、幼年期の保育から正規の小・中・高等学校教育、更に、職業訓練を通じ学校から職場への移行を容易にするための就労支援プログラムまでを網羅する「ライフ・サイクル・アプローチ」を採用しています。このようなアプローチにより、米州開発銀行は、幾つかの重要な介入の段階を通じて青少年の社会参加を促進させ、中南米・カリブ海地域（LAC）諸国の生産性を向上させることに寄与します。

<教育>

米州開発銀行は LAC 諸国の児童・青少年に対する効果的な教育と学習を支援し、高い教育水準の促進、幼年期の発達と就学準備への投資、教育者の研修の促進、適切な学習資源の確保、学校インフラの改善、学業修了者に対する雇用・ライフスキルの提供等を行います。

<若年層支援>

米州開発銀行による介入は、幼年期の保育から青少年向けプログラムまでを通じて人的資本の形成を促進することを目的としており、実用的なライフスキルの取得を通じ、個人のみならず社会全体に経済的・社会的ダメージを与える危険性の高い行為に青少年が関与する可能性を低減させます。

<雇用支援>

雇用支援関連のプロジェクトは、就労機会の改善と職能の開発を目的とする政策の策定、実施、評価を支援します。米州開発銀行が支援するプロジェクトは、社会保障の対象範囲や持続可能性を改善するかたわら、効率性や生産性を高めます。

米州開発銀行 総裁 のルイス・アルベルト・モレノ氏は次のように述べています。

「EYE ボンドは、中南米・カリブ海地域での優先度の高い3つの分野に対しさらなる資金をもたらすとともに、これらの分野に対する認識を促進するように設計された革新的な債券です。EYE ボンドへの投資によって手当てされるプロジェクトは、子どもの教育の質を向上させるとともに、生産性を高め、就業する青少年のスキル向上に貢献していきます。」

大和証券グループ本社 代表執行役社長の日比野 隆司は次のように述べています。

「今回大和証券グループが IDB の EYE ボンドに参加させて頂いたことを大変光栄に思っております。弊社は、2011年に IDB 初のテーマ債を日本で販売させて頂きましたが、それ以来、世界各国の投資家の皆様からの ESG 商品（Environment, Society, Governance を重視した投資商品）への関心は大変高まっております。我々は、IDB が、EYE ボンドの発行を通して、国際資本市場に対し、中南米・カリブの若者たちの生活向上に向けた「ライフ・サイクル・アプローチ」に貢献する機会を提供されたことに敬意を表したいと思います。私共、大和証券グループは、社会貢献に向け様々な取り組みをしてまいりましたが、今回の EYE ボンドは、ESG 市場の役割に新たな進化をもたらすものと考えております。」

発行概要

発行体	米州開発銀行
格付け	Aaa (Moody's) / AAA (S&P)
発行総額	5 億米ドル (4 年債)
受渡日	2014 年 9 月 25 日
償還日	2018 年 9 月 25 日
上場	ロンドン証券取引所



大和証券グループ

主幹事

Citi /Daiwa Capital Markets

■ 米州開発銀行について

米州開発銀行（The Inter-American Development Bank）は 1959 年に設立された世界で最も歴史の古い多国間地域開発金融機関です。IDB の出資国は 48 カ国で、うち 26 カ国が中南米・カリブ海地域の借入国、22 カ国が非借入加盟国です。IDB は中南米・カリブ海地域（LAC）で最大の政府系開発資金提供機関です。

■ 大和証券グループについて

大和証券グループは、1902 年創業の日本を代表する独立系総合証券グループです。グローバルなネットワークにより、世界中の顧客に対し資産形成や企業活動の支援といった金融サービスを提供し、社会及び経済の発展に貢献しています。主要な事業は、エクイティ、債券、投資信託、デリバティブおよびその他金融商品の開発・提供、エクイティ・債券等の引受業務、M&A をはじめとするアドバイザー業務に加え、アセットマネジメント業務や投資業務、システム関連業務です。また、2011 年には銀行業に参入。2012 年 4 月には、個人向け証券業務を行う「大和証券」と法人向け証券業務を行う「大和証券キャピタル・マーケット」を統合しました。

大和証券グループの営業拠点は、日本をはじめ、米国、欧州、およびアジア・オセアニア地域に広がっています。世界中に約 14,000 人の従業員を抱え、顧客からの預り資産残高は約 50.5 兆円となります。（数字は全て 2014 年 6 月末現在）

以 上